

永田町新潮流 平沢勝栄

俺がやらねば



などを厳しく糾弾してきた。

佐々淳行氏がなくなつた。危機管理の専門家

文化人で、彼らは警察官を「人民の敵」として激しくのしつた。

その考えの根底には同氏が論文に引用した「この世のヒロイズムは現実を直視し、現実を愛することである」というロマン・ロランの言葉があったのだらう。

「危機管理のノウハウ」シリーズは、今もこの分野のバイブルだ。心からご冥福をお祈りしたい。

これに対し、佐々氏は「警察の仕事は誰かがしなねればならない」として、出動した警察官を擁護した。

トルコ当局は早い段階から、記者は殺害された疑いがあるとしていた。サウジは否定し続けたが、20日になって、同記者が館内で死亡したことを認めた。

佐々氏は、1957年の『中央公論』に「民主的警察官はどうしたらよいか」と題した論文を書いた。

以降、今日まで佐々氏は、共産主義を賛美し、警察を敵とする知識人

しかし、トルコは23日、「死亡は凶悪で計画的な殺人だ」としてサウジ側の説明を否定した。

当時、立川の米軍基地拡張問題で警察と反対派が衝突し、双方に多数の負傷者が出た。

反対派の行動をおおったのは親ソ連系の進歩的

情報機関の情報と証拠に基づいての発言だろう。トルコ当局の情報収集能力と外交折衝能力には、脱帽である。

「サウジ記者殺害」で再認識

トルコ当局は早い段階から、記者は殺害された疑いがあるとしていた。

サウジは否定し続けたが、20日になって、同記者が館内で死亡したことを認めた。

以降、今日まで佐々氏は、共産主義を賛美し、警察を敵とする知識人

しかし、トルコは23日、「死亡は凶悪で計画的な殺人だ」としてサウジ側の説明を否定した。

情報機関の情報と証拠に基づいての発言だろう。トルコ当局の情報収集能力と外交折衝能力には、脱帽である。

私は警察庁時代に日本赤軍関連で何度かトルコ情報機関を訪ねたが、そのレベルの高さに驚いた。

「相手を知り、己を知れば百戦危うからず」という。

情報機関がない中で日本は今後、領土や国民の命・生活を守り抜くことができるのだろうか。

（自民党衆院議員）

情報機関の情報と証拠に基づいての発言だろう。トルコ当局の情報収集能力と外交折衝能力には、脱帽である。

私は警察庁時代に日本赤軍関連で何度かトルコ情報機関を訪ねたが、そのレベルの高さに驚いた。

「相手を知り、己を知れば百戦危うからず」という。

情報機関がない中で日本は今後、領土や国民の命・生活を守り抜くことができるのだろうか。

（自民党衆院議員）

本格的な「情報機関設置」が必要

イスタンブールのサウジアラビア総領事館で殺害されたサウジ人記者、ジャマル・カシヨギ氏(円内、AP)



サウジはトルコ情報機関が相手では勝ち目がな

少しずつ事実を認め始めた。金容もいずれ明らかになるかもしれない。

なお、私がトルコ情報機関を訪問したとき、先方から言われたのは次の3点だった。

第1は、なぜ警察から情報収集にくるのか。第2は情報の世界はギブ&テイクだが、日本のギブは何か。そして、第3は日本は情報の保全是大丈夫かだ。

今や、主要国で本格的な情報機関が存在しないのは日本だけである。

「相手を知り、己を知れば百戦危うからず」という。

情報機関がない中で日本は今後、領土や国民の命・生活を守り抜くことができるのだろうか。

（自民党衆院議員）